どうしてそう言うの？ 慣用句④

はじめて見ることばを、「すがた」から考えよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

はじめて見る慣用句です。各問の「すがた」の文だけを手がかりに、意味をえらびます。
ア・イ・ウから一つえらんで、□に記号を書きましょう。
すがたの文のうち、「どこで・いつ」ではなく、「何がどうなる」に注目します。

れい　花を添える

すがた　ふつうの食たくに、小さな花を一本そえる。

ポイント　**何がどうなる？→花が一本ふえて、ぱっと明るくなる**

意味は　**→はなやかさをそえて、引き立てる。**

(1) 蚊帳の外

すがた　夏の夜、みんなは大きなあみの中で楽しく話すのに、ひとりだけ外にいる。

意味はどれ？

ア　あみの中で、夏のあつさをさけて休んでいる。
イ　みんなの輪に入れず、ひとりだけ仲間はずれになる。
ウ　みんなの中心で、わいわい楽しく話している。

□

(2) 尾を引く

すがた　ほうきぼしが、長い尾を空にのこしながら、よこぎっていく。

意味はどれ？

ア　さっと終わって、あとはすっかりわすれられる。
イ　空をよこぎって、遠くへ行く。
ウ　終わったあとも、えいきょうが長くのこる。

□

(3) 鵜のみにする

すがた　うが、とった魚をかまずに、まるごとのみこむ。

意味はどれ？

ア　たしかめずに、そのまま受け入れる。
イ　よく考えて、ひとつずつたしかめている。
ウ　とった魚を、みんなに自まんして、ほめてもらう。

□

(4) 虎の尾を踏む

すがた　山おくで、ねている大きなとらのしっぽを、ぐっとふみつける。

意味はどれ？

ア　大へんな物に近づいて、あぶないことをする。
イ　とらのように強くなって、まわりの人をまもる。
ウ　あんぜんな方をえらび、おとなしくする。

□

(5) 屋台骨が傾く

すがた　やたいの中心のはしらが、ななめにかたむいて、いまにもたおれそうになる。

意味はどれ？

ア　やたいが大にぎわいになる。
イ　どっしりした土台で、長く元気にさかえる。
ウ　会社のささえがゆらいで、あぶなくなる。

□

(6) 後ろ髪を引かれる

すがた　えきで電車に乗ろうとして、うしろからかみの毛を引っぱられ、足が進まない。

意味はどれ？

ア　すっきり気もちを切りかえて、元気に前へ進む。
イ　心残りで、きっぱりとあきらめきれない。
ウ　電車の時間が気になって、気もちがせわしい。

□

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます